

豊田将樹選手のコメント

まずは、本件に関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

2022 年 6 月に JADA からアンチ・ドーピング規則違反の通知を受けて以降、意図的な禁止薬物の摂取ではないことを証明すべく、約 3 年間にわたり、多くの方々のご協力を得ながら取り組んできました。国内での 2 度の審理ではいずれも意図的でないことが認められましたが、WADA からの不服申し立てにより、国際的な場である CAS での審理へと進み、2025 年 5 月 28 日、ようやく最終的な決定として認められました。

資格停止期間中や不服申し立て期間は、先行きが見えない不安感があり、競技に対して前を向いて戦う気持ちが湧いてこなかった時期もありました。しかし今回の決定を受け、今は晴れやかな気持ちで、目標に向かって全力で取り組める状態です。

よくアスリートは「結果で恩返しを」と言いますが、本当にそれで恩返しになるのだろうか、私はずっと半信半疑でした。しかし先日、7 月に行われる日本選手権の申込資格記録を突破した際に、心から喜んでくれる方々がいて、初めて「こういう形も恩返しと言えるのかもしれない」と感じました。そして今は、もう一度日本代表として国際舞台に立ち、応援してくださった皆さんに良い報告ができるような結果を残したいという思いが、自然と湧いてきています。

私はこれまで、本当にたくさんの方々に支えられ、導かれ、守られてきました。自分は与える側ではなく、与えられてばかりの存在だったと、改めて感じています。だからこそ、これからは一步一步、前に進んでいくことで、お世話になった方々に少しでも何かを返していけたらと思っています。

日本代表争いは決して楽な道ではありませんが、また日の丸を背負って走れるよう、これからも全力で競技に向き合っていきます。今後どうぞよろしくお願いいたします。

2025 年 6 月 13 日 富士通陸上競技部 豊田 将樹